実例レポート

日田市　I邸
在来工法（木造パネル工法）（スーパーウォール工法）

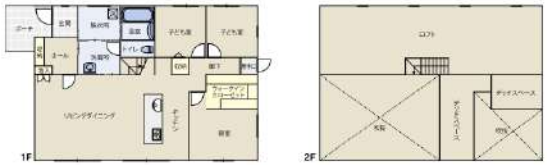
自然素材とエコの融合。天領木だから叶う快適な理想の住まい

通りから見ると、片流れの大屋根に台形型のフォルムが個性的なI邸。奥様の好きな赤い色のポストがアクセントになっている。

㈱天領木

建築DATA

家族構成／大人2人＋子ども1人
敷地面積／281.72㎡（85.22坪）
延床面積／138.43㎡（41.87坪）
予算／坪□□万円～



玄関ホールから洗面室へ、そしてLDKへと帰宅後の動線を考慮した設計。

片流れの大屋根が大胆な木の香り漂う日亜の平家

国道からわずかに離れた住宅地に忽然と現れる純白の一邸は、片流れの屋根が大きく傾斜した大胆な姿で、街並みに溶け込んでいます。

室内に足を踏み入れると、外観と統一感のある白い世界。壁から天井までまばゆいほどに白く輝き、アイアンのドアノブや取っ手がアクセントになっています。LDKは、庭から明るい日差しがたっぷり降り注ぐゆとりの空間。住まいの機幅いっぱいに連なる大空間の吹抜感に包まれます。モノや凹凸のないすっきりした住まいは、まるでショールームのよう。なかでも印象的なのは、奥様こだわりの美しい造作キッチンです。グラフテクトのライトグレーの台にポッシュの食洗機を組み込んだアイランド型で、背面には白タイルを採用したカウンター収納がたっぷり備わっています。

もう一つ特徴的なのが、玄関近くにある水回りです。洗面室の中にトイレと浴室を設け、玄関ホールとリビングの2箇所から出入りできるようになっています。また、玄関にはカーテン一枚で仕切った使い勝手の良いシューズクロークを採用。洗面台とキッチンの背面カウンターにポイントを活用し、思い通りの住まいを造り上げています。

伸びやかな日当たりの良いLDKでくつろぐご家族。

ロフトは天領木らしい浮づくりのフローリング。

白いタイルを凝らしたスタイリッシュな造作キッチン。

食洗機を組み込んだアイランド型のキッチンはデザイン性にも優れている。

柱と梁のない広々大空間 大容量の太陽光でエコを実現

お二人共に転勤期間を終え、出身地の日田市に家を建てたIさんご夫婦。計画中に長女が誕生し、新居での家族3人暮らしが始まっています。ご実家と連なる86坪の敷地に平屋を建てようと思ったご夫婦は、大手住宅メーカーの展示場を見て回るも決め手がなく、アポなしでふらりとご近所の天領木へ。その柔軟な対応と家づくりの考えに共感し、同僚の評判も良かったことから家づくりへと進んで行ったそうです。

「シンプルでナチュラル」をイメージした奥様は、無駄のない間取りと柱や梁のない大きな空間を希望。子育てのしやすさと家事動線を重視し、コンパクトながらもゆとりある住まいを実現しています。インテリアにもこだわり、統一感のある色使いはもちろん、オリジナルのキッチンと洗面台には取っ手や照明などに真鍮を取り入れています。

「デザインは業者に任せて機能面を重視した」というご主人は、ゼロエネ住宅を追求。「以前のアパート暮らしより、光熱費がかかりません。夏はエアコン一台でロフトの隅まで涼しいことに驚いています」と話します。天領木との納得の家づくりを終え、成長した我が子との楽しい庭遊びやロフト遊びに想像を巡らせながら家時間を楽しんでいるご夫婦です。

公的補助金をフル活用した安全で快適な高性能住宅

東日本大震災をはじめ、熊本地震や日田の水害、台風などを経験するたびに災害に強い家を追求し続けてきた『天領木』は、スーパーウォール工法による高気密・高断熱・高耐震の木造住宅を、ハザードマップに照らし合わせた土地探しからご提案しています。また、国や自治体の公的補助金を最大限に活用するほか、LIXILとの連携で太陽光発電システムが実質0円になる「建て待」の採用によって、コストを抑えた高性能住宅のご案内をしています。

代表取締役　荒川政勝

部材が高騰し続ける今の家づくりはスピードが命。規格住宅トレッティオであれば、さまざまなプランから好みのスタイルが選べ、スピーディーな家づくりが実現します。社会も環境もめまぐるしく変化する時代に合わせた高性能住宅を、『天領木』でお得に賢く叶えませんか。